

平成16年度行政評価（事務事業評価・施策評価）のまとめ

評価の総括

事務事業評価として442事業を各担当課長が一次評価し、その後、総合計画における134の施策単位で各担当部長が評価した。

(1) 事務事業評価の結果（442事業の方向性）

維持継続	317	改善	70	拡充	22	終了	5
縮小	7	統合	19	廃止	2		

(2) 施策評価の結果（134施策の評価）

施策の総合評価として、最も評価の高いものをAとして以下B、C、Dの四段階に分けて評価を実施した。

その結果、A評価7件、B評価97件、C評価9件、D評価はなしとなった。

評価結果の概要（主に施策評価結果より）

個々の事務事業評価では、改善や統合などの方向性も示されたが、今回実施した施策評価の達成度は、134施策の内、104施策がA・Bの評価を得ており、概ね良好との評価であった。なお、評価過程において、次の事項が指摘された。

(1) 青少年の健全育成

勤労青少年の活動を支援する事業が十分機能していない。また、青少年海外派遣事業については、中学生も対象とした事業展開が必要である。

(2) 高齢者福祉の充実

生きがい対策の充実についての達成度は、標準であるが、「シルバー人材センター運営事業」及び「寿永荘、公衆浴場助成事業」は、縮小の方向性が指摘された。

(3) ふるさと内水面漁業の振興

内水面漁業の振興の達成度は標準以下であり、漁協が自主的な活動を行えるよう環境整備を整える必要がある。

(4) 企業誘致の整備

企業誘致に関しては、立地企業数が少ないため、達成度は標準以下となった。今後、一層の誘致活動の充実が必要である。

(5) 魅力ある商業の育成

地域商業の活性化及び消費者と進める商業の育成の達成度は標準以下である。多様化する消費者問題に対応する相談員を設置する必要がある。

(6) 雇用の安定

雇用の促進、就労への支援については、新就職者を激励する事業の他に、企業協会、商工会等を巻き込んだ事業展開を進める必要がある。

(7) 交通体系の充実

公共交通対策として、平成17年度の事務事業評価から新幹線対策に関する事業と在来線対策に関する事業に分けて評価する。

(8) 生活環境の保全

下水道事業については、水洗化率が県内平均より低いことから、達成度は標準以下となった。今後も、下水道未接続世帯への対策を強化する必要がある。

(9) 市民と共に進めるまちづくり

広報・公聴の充実としての達成度は標準であるが、「市政バス事業」については、事業の重要性、妥当性、公平性が非常に低く根本的な改善が必要である。

(10) 行財政運営の効率化

広域行政の推進については、効率性が低いことから達成度が標準以下となった。今後は、より一層の広域行政のメリットを拡大させる必要がある。

また、達成度が優れている施策評価

(1) 健康づくりの推進

特に、保健事業の充実及び福祉マインドの醸成については、十分な事業展開がされている。

(2) 森林資源の保全

地域材活用施設整備事業により北蟹谷スポーツセンターの整備がなされ、目標以上の達成度であった。

(3) 消防・防災体制の充実

消防施設整備の充実及び消防力（消防団等）の強化・充実については、標準以上の達成度が認められた。

事務事業評価及び施策評価の結果の概要は別紙のとおりです。